

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 日 作成
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		認可外保育所助成事業		<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 青木洋治
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	子育て支援課	担当者名 合志義浩
	基本事業	58	子育てと仕事の両立支援	所属班	子ども保育班	(内線) 2155
				法令根拠	合志市認可外保育所事業補助金交付要綱	

予算科目	会計 1	款 3	項 2	目 3	事業連番 10576	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 11	コスト削減優先度評価結果 6
------	------	-----	-----	-----	------------	----------------------------------	-----------------------------------	--------------	----------------

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 認可外保育所へ入所している乳幼児の健全育成を図るために保育所事業を行う認可外保育所を支援する。市内に住所を有する入所児童1人につき月額3,000円を補助する。

【業務の流れ】
 ①補助金交付申請書(添付:補助対象入所児童名簿・歳入歳出予算書抄本)の受付、審査②交付決定伺い③交付決定通知書④実績報告書(添付:事業成績書・歳入歳出決算書抄本)⑤補助金交付請求書⑥補助金支払(支出負担行為、支出命令書等)

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) H20年度と同様。
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 5園(延べ1,120人の児童)に対し3,360,000円の助成を行った。		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 園 → ア 認可外保育所数(事業所内保育所を除く)
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・認可外保育所		⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 園 → ア 認可外保育所数(事業所内保育所を除く)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・認可外保育所の施設環境を向上させる。		⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 人 → ア 助成件数(月延べ人数)
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 安心して仕事ができる		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) % → ア 保育所に入所している児童数/保育所の入所を必要とする児童数

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総トータルコスト (期間限定複数年度の み記載) 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	3,111	2,619	3,960	3,360	3,600	3,900		
	(A) 事業費計	千円	3,111	2,619	3,960	3,360	3,600	3,900	0	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人	4	4	4	5	4	4	4		
延べ業務時間	時間	70	70	70	77	70	70	70		
(B)人件費計	千円	278	279	279	306	279	279	279	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,389	2,898	4,239	3,666	3,879	4,179	279	0	

活動指標	ア イ	園	7	5	5	5	5	5	5	目 標 合 計 値 画 22 年 度
対象指標	ア イ	園	7	5	5	5	5	5		
成果指標	ア イ	人	1037	873	1320	1120	1200	1300		
上位成果指標	ア イ	%		97.4	100	94.9	95	98	100	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 旧合志町で、平成11年度より、認可外保育所に入所している乳幼児の健全育成を図るため、町内在住の児童一人につき月額1,000円の助成で開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 平成11年度より、児童一人につき月額1,000円の助成で開始され、その後、平成15年度に月額2,000円、平成17年度に月額3,000円と増額されている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 認可外保育所およびその保護者より、認可保育所の運営費との不公平感があるため、平成14年度から毎年増額の要望があっている。他の自治体にはない事業なので、実施保育園からは経營的に助かり、よりよい保育が出来るとの声が上がっている。

事務事業名	認可外保育所助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 市の目標とする「子育て支援日本一のまちづくり」に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 認可保育所は毎月入所児童数に応じて市より運営費を支出しているが、認可外保育所は運営費の支給はなく、保護者からの保育料だけで運営されているため、入所している乳幼児の健全育成を図るため、市より助成をすることは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ この事業では、対象を合志市内に住所がある児童に限定しているため適切であるが、助成先を保育所から保護者に変更することも可能ではないか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ この事業は市単独事業であり、近隣市町村で実施しているところも無く、助成額も当初より増額されているので、現状で妥当と思う。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 認可外保育所に対する経済支援がなくなると、保育料の増額など保護者への負担増が考えられる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似事業がないため、統廃合・連携はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 認可保育所の平均運営費一人につき月額約90,000円に対して、認可外保育所は3,000円なので削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 助成の手続きとしては、交付申請に伴う審査決定及び支払と実績報告に伴う確定事務という最低限の事務のため、削減余地はない
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市内在住の入所者に限定して、県に設置届を提出している、市内全ての認可外保育所を対象にしているため、一部の受益者に偏ることはない。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
助成額を増額すると、全て市の財源になるので、財政状況との検討が必要である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)